

大正五年四月六日第三種郵便物認可
大正十一年二月十五日印刷納本(毎月一回一日發行)

哲 學 研 究

第 八 卷 第 三 册

第 八 十 四 號

大 正 十 一 年 三 月 一 日 發 行

個體概念を通じて觀たる「形而上學の要求」……………

…………… 文學士 河瀬 憲次

デカール哲學に關する二三の考察……………

…………… 文學博士 朝永三十郎

兒童精神力の性的差異…………… 文學博士 檜崎淺太郎

認識論より見たる相對性理論(カッシーラ)……………

…………… 文學士 岡野留次郎

彙報其他……………

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內

京 都 哲 學 會

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究会ヲ開ク
 - 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
 - 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名) 京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌、『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學士	植田	壽藏
文學博士	狩野	直喜
文學博士	小西	重直
文學士	澤村	專太郎
文學博士	高瀬	武次郎
文學博士	田邊	元成
文學博士	千葉	胤成
文學博士	朝永	三十郎
文學博士	西田	幾多郎
文學博士	野上	俊夫
文學博士	波多	野精一
文學博士	深田	康算
文學博士	藤井	健治郎
文學博士	松本	文三郎
文學士	務臺	理作
文學博士	米田	庄太郎
實方	寶嚴	方夫

書記

哲學會例會

二月二十日午後五時半より學生集會場にて本年度卒業生豫備會を兼ねて左の講演を行つた、波多野、西田、朝永教授出席。

運命と自由

文學士 加川航三郎君

社會學讀書會

二月十五日午後六時半から學生集會場にて開會、

高田保馬氏階級の本質について

文學士 銅直 勇君

心理學會

二月十五日午後五時より學生集會場にて黒田源次氏の大學院卒業祝賀を兼ねて同氏の左記講演があつた。

兩側刺激の相互作用について。

金曜會例會

二月十六日午後六時より左説の題目について論議をやつた。

教育學方法論(本誌八二、八三號)

伊藤 猷典君

寄贈書籍雜誌

哲學から教育へ

東京 東川 貞一著

現代哲學概論

文學博士 東京 金子 筑水著

不可說轉の記

香曉 鳥草 敏著

日本倫理思想の系統

文學博士 徳永 茂助著

東洋倫理思想概論

文學士 同 岩橋 遼成著

根本佛典の研究

文學士 同 長井 眞琴著

哲學雜誌、丁酉倫理講演集、心理研究、東洋哲學、六合雜誌、日華公論、教育研究、内外教育評論、教育、教育界、教育學術界、教育時論、國際聯盟、精神運動、三田文學、見眞、光、講座、日本心理學雜誌。

前 號 目 次

繪畫の優劣は如何にして可能なるか(二)	文學士	植田 壽藏
公羊家の文化階段説	文學士	小島 祐馬
法と道徳	文學博士	西田幾多郎
教育學方法論(完)	文學士	伊藤 猷典
メデイクスの道徳的評價の二原理	文學士	世良 壽男

告 會

- 一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込被下度候
- 一、會員ニシテ轉居ノ節ハ直チニ其旨御報知被下度候
- 一、會費ハ振替口座大阪零〇六六叁番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
- 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學
文學部 內 **京都哲學會**
振替口座大阪零〇六六叁番

註 文 規 定

- ◎ 會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版株式會社へ御申込下され度候
- ◎ 本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下さるべく候
- ◎ 振替貯金にて御送金ば(振替大阪三三九五番三九三一番東京三九三一番)内外出版株式會社宛に願上候
- ◎ 前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべくに付直に御拂込下され度候
- ◎ 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

定 價

冊	數	定	價	一	郵	稅
一	冊	金	四	拾	錢	壹
六	冊(前金)	金	貳	圓	四	拾
十二	冊(前金)	金	四	圓	八	拾

廣告料

一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

大正十二年二月廿五日印刷納本
大正十二年三月一日發行

編輯者

右代表者

發行者

印刷者

印刷所

第八十四號 第八卷 第三册
京都帝國大學文學部內

京都哲學會

寶嚴方夫

大谷仁兵衛

村上勘兵衛

内外出版株式會社印刷部

發行所

京都市下京區西洞院七條南

内外出版株式會社

振替口座 大阪三三九五番 東京三九三一番

本社 京都市下京區西洞院通七條南
出張所 京都市京橋區加賀町十番地
販賣所 京都市神田區錦町一ノ一
内外出版株式會社

(東京) 東京堂 東海堂 北隆館

(大阪) 上田屋 至誠堂

(神戸) 寶文館 川瀬書店

(京都) 共盛社 大盛社

不許複製
禁轉載

京都帝大講師
大谷大學教授

寺本婉雅譯補

忽再版

西藏文唯識論

現代の動亂極りなき思想界に對し、輕躁と健忘症を長所とする我國民は盲目的に外來思想を追隨し、昨是今非、改造、改革の語を哢して我民族性の史的生成を忘れ、無批判的實利主義に陥り、民族危滅の秋に瀕す。本書は斯る無信の思潮を摧破し、既に泰西に於て行詰れるカント、ヘーゲル、ベルグソン、ゼームス等哲學の缺陷を警覺せしめ、人類永遠の最高批判の原理を示した。是れ實に東洋思想の核心であり、世界指導の思想燈である。原著者世親は千數百年來、日本民族の根帯を培養し日本文化を開發せしめし靈祖である。譯者は原著者の唯識論に關する總てを網羅し、藏漢和對譯し、卷末に原文を附し、兼て「行の哲學十二因緣論」を添加した。

四六判參百頁
バビリン美裝
定價貳圓參拾錢
送料貳拾錢

內外出版株式會社發兌

京都市下區
西洞院七條南

振替口座
東京三三三
三三三
九九三
五三三
五三三
番番番

(大正五年四月六日)大正十二年二月二十五日印 刷 納 本
第三種郵便物認可(大正十二年三月二日發行)海月一画(日發行)

哲學研究 第八十四號

定價金四十錢

郵税金壹錢